

## TPAC 社製任意波形発生機能搭載 超音波パルサーレーザー

### 任意波形発生機能とは？

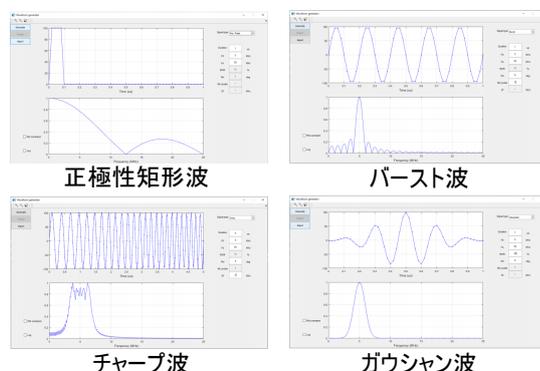
非破壊評価や非破壊検査に用いられる一般的な超音波パルサーレーザーは、超音波振動子を励起させるために負極性のスパイク波及び矩形波のパルスがよく使用されています。

任意波形発生機能を用いると任意の周波数と波形を持ったパルスで超音波振動子を励起させることができ、特定モードのガイド波発生や非線形超音波法への応用他、様々な応用技術の開発に役立ちます。

### TPAC 社製超音波パルサーレーザーで生成できる任意波形は？

- ・ 正 / 負 / 双極性のスパイク波
- ・ 正 / 負 / 双極性の矩形波
- ・ 正 / 負 / 双極性の方形波（デューティ比 0.5 の矩形波）
- ・ 正弦波（バースト波、チャープ波、ガウシャン波等）
- ・ その他、プログラム可能な波形は複数あります。

詳細は弊社までお問い合わせください。



### TPAC 社製超音波パルサーレーザーの主な仕様

TPAC 社ではマルチチャンネルタイプとフェーズドアレイタイプの 2 種類のパルサーレーザーをご用意しています。

#### **Pilot:** パイロット

8CH パルサーレーザー

##### 【主な仕様】

- ・ フルパラレル / マルチチャンネル
- ・ CH 数 8 (8 単位で拡張可能)
- ・ 最大 PRF : 20 kHz
- ・ 受信帯域幅 : 10 kHz ~ 20 MHz
- ・ サンプリング周波数 : 100 MHz
- ・ データ伝送速度 : 100 MB/s (イーサネット)
- ・ SDK (C#, C++, LabVIEW, Matlab, Python 他)



Pilot

#### **Pioneer:** パイオニア

128CH フェーズドアレイパルサーレーザー

##### 【主な仕様】

- ・ フルパラレル / フェーズドアレイ / FMC
- ・ CH 数 128/128 (128 単位で拡張可能)
- ・ 最大 PRF : 20 kHz
- ・ 受信帯域幅 : 15 kHz ~ 20 MHz
- ・ サンプリング周波数 : 100 MHz
- ・ データ伝送速度 : 2 GB/s (PCIe)
- ・ SDK (C#, C++, LabVIEW, Matlab, Python 他)



Pioneer 256/256